

## 第1回 食べる

抑留中の一番の楽しみは**食事**だったといわれます。

多くの収容所では食器が支給されず、スプーンなどの食器を自作することがあり、抑留時に持っていた自作の食器などは抑留を共に生き抜いた“仲間”として持ち帰りました。

また、食事は黒パンやスープ、薄い粥が主だったために、スプーンがよく作られました。

### ○ スプーンフォークセット



箱の中にフォーク1本とスプーン2本が入っています。袋以外は全て木製です。

### ○ スプーン



日干しレンガを削って型をつくり、溶接用のアルミを溶かしてレンガの型に流し込んだものを金槌で叩いて形を整え、ヤスリで仕上げました。

抑留者によっては、ヤスリの代わりに砂や土の粒を使って仕上げる場合もあったようです。